

●同窓生3名が日本学士院会員に！

事務局

令和2年12月14日開催の第1144回日本学士院総会において10名の方々が新会員に選定されましたが、その内下記の方が六稜同窓会会員でした。

○吉野 彰さん(78期) ノーベル賞受賞の旭化成(株) 名誉フェロー

従来の鉛電池やニッケル水素電池より小型で軽く、高い電圧をもち、安全性の高い、繰り返し充電可能なリチウムイオン電池を発明。モバイル-IT社会の実現や地球環境問題の解決への貢献など、さまざまな分野で社会に大きく貢献した。

○家 正則さん(80期) 天文学者で国立天文台名誉教授

米ハワイ島のすばる望遠鏡の建設計画に貢献し、すばる望遠鏡の視力を10倍にする補償光学を開発。完成後には130億光年の初期宇宙を観測し、人類が観た最も遠く最も昔の銀河を発見した。

○金水 敏さん(87期) 日本語学者で大阪大学教授

日本語における存在表現の歴史的变化を解明した。また、「役割語」という概念を提唱して新たな言語研究の領域を切り拓いた。

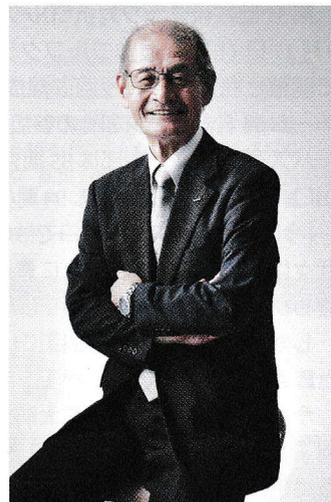
学士院会員は優れた業績を上げた研究者の中でも特に顕著な功績を上げた人が選ばれる特別職の国家公務員で、現在の会員総数は139人です。日本で最高の研究集団に六稜同窓会から3名も選出されるとは素晴らしいことではありませんか。既にお三方ともトークリレーで講師を務めていただいております。



家 正則さん(80期)



金水 敏さん(87期)



吉野 彰さん(78期)

●68期「北野31句会」報告

福島有恒(68期)

68期(昭和31年卒)の俳句仲間はインターネットを介して俳句を楽しんでいます。

今回は令和2年6月～10月の句会よりメンバーの自選句をご紹介します。

68期で当句会に参加を希望される方は、下記の作者にお問い合わせください。経験不問です。

十葉や一隅照す人の居て
人と会ふことのうれしき梅雨晴間
秋日傘さし合うてみて良き間合

石井 登

さくらんぼ豊かに盛りて誕生日
バス曲ることの夜景や梅雨明るく
伸びをして猫歩き出す夜長かな
葛餅や吉野の深き谷思ふ
朝一番コロナ忘るる蝉時雨
骨折の病棟の夜の長きこと
コロナ禍の地球はなれて夏の月
梅雨明や常より高き今日の空
竹林を行けばかそけき秋の声
桐の花昭和ははるかむかしかな
常宿の世間ばなしや茗荷汁
とるべきやとまどふマスク神迎え

中院俊子

畑田孝子

福島有恒

邑上治兵衛